

Washington State National Park

レニア山国立公園 MT. RAINIER NATIONAL PARK
シアトルの南東約152キロにそびえるワシントン州の最高峰レニア山は、その円錐形の山容が富士山に似ていることから、その昔より、遠い祖国を思う地元の日系人にタコマ富士(タコマとはレニア山近くの都市)の名で親しまれてきました。カスケード山脈の中でもひととき高く雄大な姿のレニア山は富士山(標高3,776メートル)を600メートル上回る4,392メートルの高さ。

四方に向けて放射状に伸びる40あまりの氷河は、総面積約91平方キロメートルにも及び、アメリカ本土では、最大の規模を誇ります。

その雄大で美しい自然は古くから人々に愛され、今年1999年、国立公園指定100周年を迎えました。

観光スポットとしては、山の南斜面、標高1,640メートルにあるパラダイス・バレー(PARADISE

VALLEY)が最もポピュラー。登頂、各トレイルの出発点にもなっている。この地点からは壮大なニスコウリー氷河が手にとるように眺められ、

また夏には色とりどりの高山植物が一面に広がります。ここには展望舎や博物館、レストランが入った広い駐車場付きビジターセ

ンター、丸太造りのパラダイス

・ロッジ(夏期のみ営業)があり、ひと休みするのに最適です。

アメリカの国立公園では、野生動物にえさをやったり、草花や石を持って帰ったりすることなども禁止されているので注意しましょう。

レニア山まではシアトルから車で2時間弱、夏期にはグレイラインなどからの日帰りのバスツアーが出ています。

オリンピック国立公園 OLYMPIC NATIONAL PARK

シアトルの西方、ピュージェット湾を渡ったオリンピック半島にあるオリンピック国立公園では、ひとつの公園内に全く対照的な自然の地形や気候が見られます。

西側は山脈により行く手を迫られた、太平洋側からの湿った空気が停滞するため、世界でもひとつしかない針葉樹の雨林をつくりだしています。

所によっては年間降雨量が3,000ミリを越すこの雨林では、太古の原生林そのままの姿が見られます。

観光には、オリンピック山脈の雄大なパノラマが一望のもとに開けるハリケーン・リッジ(HURRICANE

RIDGE)が最も人気です。公園の北東に位置するこの地点は、ギフトショップでコーヒーショップもあり、車で登れる手軽さも手伝って、

年間200万人が訪れています。山を下ってハイウェイ101を西に向かうと公園最大の湖、クレセント・レイク(CRESCENT

LAKE)があります。公園の西側からホウ・リバー(HOH

RIVER)に滑って東へ向かうと、ホウ・リバーのビ

ジター・センターがあり、そこはもう雨林の真っ只中。101をさらに南へ向かったクィノート湖(LAKE CUINAULT)には故ルーズベルト大統領もかつて宿泊したレイク・クィノート・ロッジがあります。

